

第3回補助26号線沿道地区街づくり懇談会 次第

日 時：令和元年7月11日（木）18：30～20：30
会 場：北沢タウンホール 12階 スカイサロン

- 1．開会
- 2．第2回街づくり懇談会の振り返り
- 3．模型確認
- 4．意見交換『沿道の将来像について』
- 5．街づくりアドバイザーより 国土舘大学 寺内教授
- 6．閉会

意見交換（第3回）のテーマ

『沿道の将来像』について

付せん紙は「意見交換」で使用します。ご意見をご記入ください。

第 2 回街づくり懇談会の振り返り

【要 旨】

- 1．第 1 回街づくり懇談会の振り返り後の質問と回答
- 2．意見交換
- 3．アンケートの概要
- 4．東京都からの回答
- 5．区からの回答

令和元年 7 月 1 1 日

1 . 第 1 回街づくり懇談会の振り返り後の質問と回答

▶ : 発言 : 区の回答

<p>東京都からの回答について</p>	<p>▶配布資料の東京都からの回答について、回答した部署を教えてください。 東京都第二建設事務所工事第一課です。</p> <p>▶東京都からの回答内容の確認は、工事第一課に問い合わせすればよいのか。 東京都からの回答の確認先は、東京都第二建設事務所工事第一課です。</p> <p>▶街づくり懇談会における意見を受けて、世田谷区から東京都へ住民の反対意見を伝えたことは良いが、東京都から十分な回答が得られていないと感じる。世田谷区は、住民の立場に立ち、東京都に対してより具体的な回答を求めています。</p> <p>▶東京都は、住民がどんなことで困っているのか、どんなことを考えているのか、道路についてどう考えているのか関心が薄いと思う。 東京都は、東京都の立場で回答していると思いますので、住民の皆様にとって満足のいく回答が返ってくるかどうかはわかりません。 区としましては、今後も住民の皆様のご意見やご質問は、直接、東京都へ伝えてまいります。住民の皆様にとって不十分と思われる回答につきましては、ご指摘いただければ、改めて東京都にお伝えし、回答を求めています。</p>
<p>意見の東京都への伝え方について</p>	<p>▶第1回街づくり懇談会における参加者の意見は、どのような形で東京都に伝えられたのか。 街づくり懇談会において参加者の皆様からいただいたご意見やご希望につきましては、世田谷区北沢総合支所街づくり課の職員が、東京都第二建設事務所工事第一課を訪問し、街づくり懇談会における主なご意見をお示しし、概略を説明した上で、回答をお願いしています。</p>
<p>懇談会の進行について</p>	<p>▶どのような意図でグループ分けによる進行を考えたのか。 グループに分かれて討議を進めていただく理由は、街づくり懇談会にご参加いただいた皆様全員のご意見をいただきたいためです。 1回目と同じように全体で意見交換を行うと、時間の関係で、参加者全員のご意見を伺うことが難しいため、テーブルごとにご意見を出し合っていたいただく形にしました。</p>
<p>懇談会における議題について</p>	<p>▶私は、道路建設反対の立場であるが、街づくり懇談会において、道路整備の是非を論ずることはできるのか。 補助26号線の整備主体は東京都であるため、道路整備の是非については、我々には決められません。1回目の街づくり懇談会において実施したアンケートにも、つくらないという意見を排除してくれという意見もありましたので、この場では道路の是非やよし悪しの議論は、ご遠慮いただきたいと思います。しかし、街づくり懇談会で賛否の意見もいただければ、引き続き東京都へ伝えてまいります。</p>

2 . 意見交換

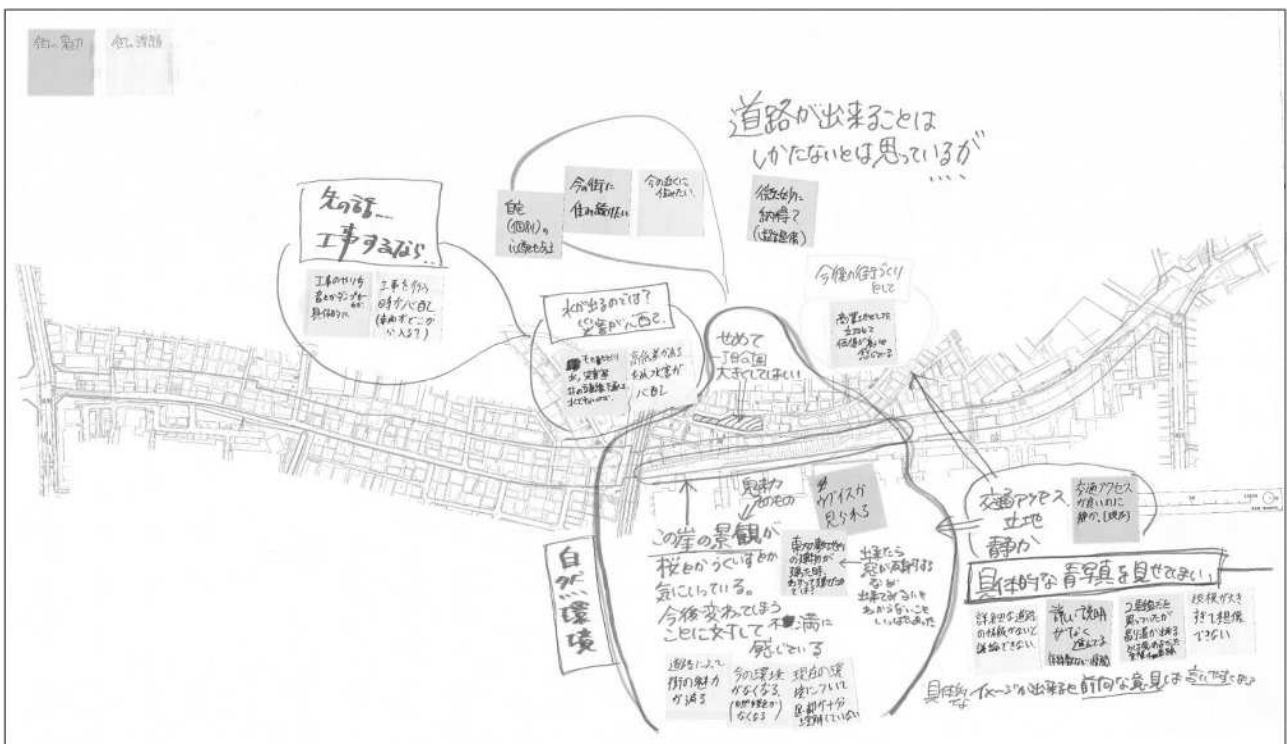
(1) 北側テーブル の付せん紙、模造紙に記載された主な意見

項目	内容	位置
道路整備	・道路が出来ることは仕方ないとは思っているが... (微妙に納得?)	-
	・道路によって街の魅力が減る。	
	・今の環境がなくなる。(自然や景色がなくなる。)	
	・現在の環境について、区、都が十分理解していない。	
	・具体的なイメージが出来ると前向きな意見は言いやすくなる。	
	・詳細な道路の情報がないと議論できない。	
	・詳しい説明がなく進んでいる。(車線数など情報)	
	・2車線だと思っていたが副道が出来るとは思わなかった。実質4車線である。	
	・規模が大きすぎて想像できない。	
自然環境	・ウグイスが見られる。	東京大学 西側
	・この崖の景観が魅力そのもの。(桜やウグイスとか気に入っている。)今後変わってしまうことに対して不満に感じている。	
生活環境	・現在は交通アクセスが良いのに静か。	北沢 1-13 付近
	・せめて北沢一丁目公園大きくしてほしい。	北沢一丁目公園
	・商業地としても、立地的価値が高いと感じている。	-
	・東大の敷地内に建物が出来たときに窓が反射するなど、出来てみないとわからないことがいっぱいあった。	東京大学 西側
居留意向	・今の近くに住みたい。	-
	・今の街に住み続けたい。	
	・自宅(個別)の心配もある。	
道路工事	・工事のやり方(音とかダンプカーとか)具体的に。	-
	・工事を行う時が心配。(車両がどこから入る?)	
災害	・水が出るのでは?災害が心配。	-
	・もともと川であり、水、災害等、井の頭線の下を通して水がでないのか。	
	・高低差があるため、水害が心配。	

グループ発表の内容（北側テーブル）

- ・東京大学西側の崖地（桜、ウグイスの生息など）の景観がこの地域の魅力そのものであり、今後、道路整備により今の環境が変わってしまうことに不満を感じている。
- ・道路整備に関する説明会で、どこまで見せていただけるのか、すごく不安に思っている。東京大学の敷地に大きな建物が建った時に、説明会で聞いたイメージよりも、実際のイメージが違うと感じたことがある。
- ・具体的な青写真を見せてもらわないと、前向きな意見をどう発言して良いのかわからない。
- ・この地域は、交通アクセスが良く、立地が良く、静かである環境などを気に入っている。
- ・道路整備により少しずつ環境が変わってしまうかもしれないが、交通アクセスや立地が良いということは、今後の街づくりにおいて、商業地としても発展可能性があるかもしれない、価値が高いことを感じている。
- ・この地区は、そもそも窪地であることから、道路が出来ることによって水が出るような、災害面の心配がある。
- ・工事が始まる時に、どのような動線で工事車両が入ってくるのかなどのお話も具体的に聞きたい。

当日取りまとめた内容（北側テーブル）



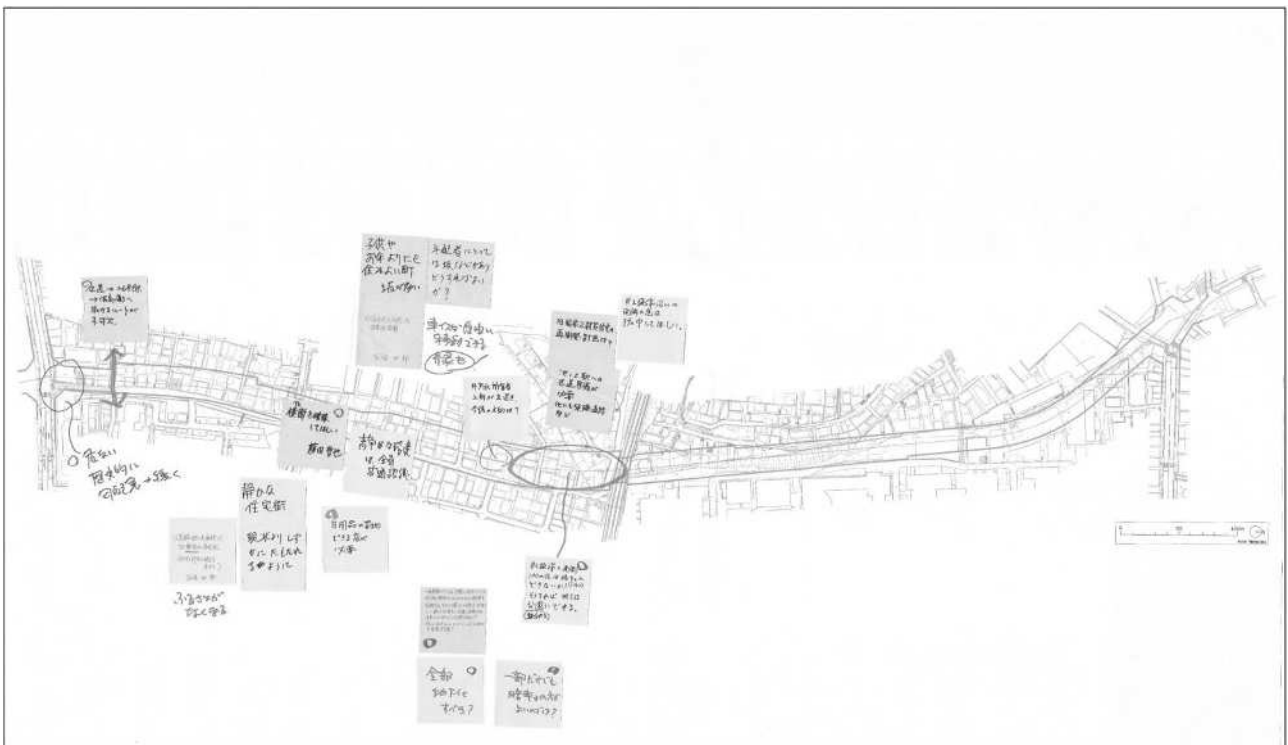
(2) 南側テーブル の付せん紙、模造紙に記載された主な意見

項目	内容	位置
道路整備	・ふるさとなくなる。	-
	・この道路づくりは、平穩に生活している代沢に無理に立ち退きさせて街を分断する、まるで環七の様な恐ろしい道が出来る。不便、分断されるなんて断じて許せない！役人はきちんと3ページの下3項目を考慮する事！	
	・区道から補助26号線、淡島通りへ抜けるルートが不可欠。	計画線内、井の頭線から南側100m
	・京王井の頭線と南側100m位は暗渠(トンネル)にできないか？そうすれば、地上は公園(魅力がある)にできる。	
	・全部地下化すべき？	
	・一部だけでも暗渠の方がよいのでは？	
	・危ない、歴史的に勾配急 緩く	淡島通り交差点付近
横断	・横断を確保してほしい。	代沢1-31南側～代沢1-24北西側
周辺道路	・京王井の頭線沿いの南側の道は拡幅してほしい。	井の頭線沿い道路(南側)
	・池ノ上駅への区道整備が必要。他にも狭隘道路多い。	-
	・旧国家公務員住宅の再開発計画は？	代沢1-35,36付近
生活環境	・静かな環境は全員共通認識。	-
	・静かな住宅街。	
	・長期にわたって維持してきた静穏な住宅地。(あらゆる利便の観点も含めて。)	
	・年配者にとっては坂などがありどうすれば良いか？	
将来像	・日用品の買い物ができる店が必要。	-
	・現状より静かに保たれるように。	
	・子どもやお年寄りにも住みよい街。(坂が多い)	
	・高齢化に対応した住環境整備。	
	・車いすが自由に移動できるように。	
その他	・(道路整備により)井戸水所有者2軒が立退き、今後の方向は？	-

グループ発表の内容（南側テーブル）

- ・ 地区の特徴は、坂と階段が多いことである。特に、補助26号線の西側の方が、坂が多く、階段が多いこともあり、高齢者が移動しにくいところもある。
- ・ 現状の地区の魅力は、閑静な住宅地であることである。
- ・ 高齢者が多い街のため、お年寄りや子どもに優しい街づくりをしていくべきである。
- ・ 道路整備については、建設的な意見、反対意見、双方ある。
- ・ 京王井の頭線付近の掘割りの深い部分については、100mくらいの範囲については、蓋（トンネル状）にして、その上部に公園をつくるというような工夫ができないか。
- ・ 今の閑静な住宅環境は、皆様、共通した良いところという共通認識がある。
- ・ 閑静な住宅環境については、そのままの方が良いという意見と、日用品の買い物ができるような施設も必要なのではないかという意見があり、今後、意見交換を続ける中で、皆様の認識を摺り合わせていく必要がある。

当日取りまとめた内容（南側テーブル）



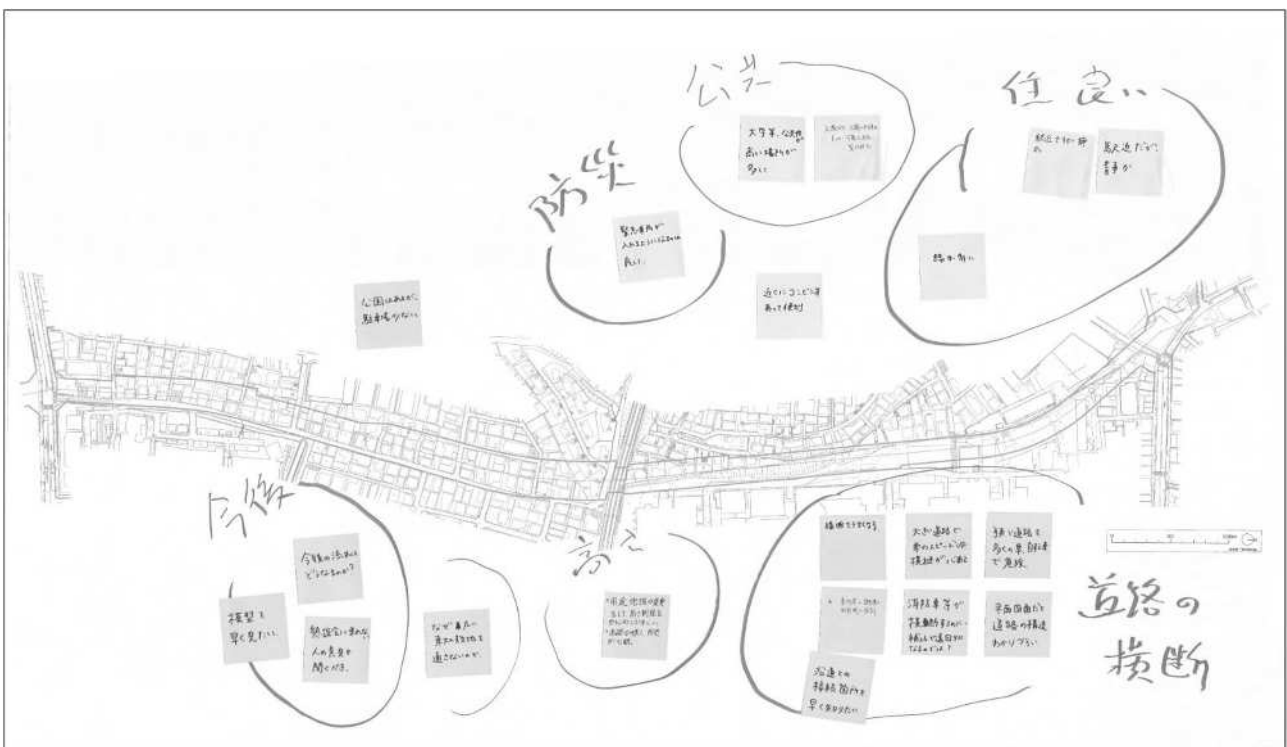
(3) 北側テーブル の付せん紙、模造紙に記載された主な意見

項目	内容	位置
道路整備	・なぜ広い東大の敷地を通さないのか。	-
	・歩行者と自転車の利用域の分別。	
	・沿道との接続箇所を早く知りたい。(補助26号線と後背地の道路との接続箇所を早く知りたい。)	
	・消防車等が横断するのに補助26号線で遠回りになるのでは？	
横断	・横断できなくなる。	-
道路の情報	・模型を早く見たい。	-
	・平面図面だと道路の構造がわかりづらい。	
道路整備の効果	・文教的、公園の利用はもっと可能であると思われる。(道路が整備されることで、文教的施設や公園等の公共施設が利用しやすくなると思う。)	-
	・緊急車両が入れるようになるのは良い。(道路が整備されることで、緊急車両が入って来やすくなって良い。)	
安全性	・大きい道路で車のスピードUP。横断が心配。(幅員の広い道路になるため、車の走行速度が早くなり、道路を横断するのが危険なのではないか。)	-
生活環境	・近くにコンビニ等あって便利。	-
	・駅近ですが静か。駅近だが静か。	
	・緑が多い。	
	・大学等、公共性が高い場所が多い。	
	・狭い道路に多くの車、自転車で危険。	
	・公園はあるが、駐車場少ない。(周辺には公園が数多く立地しているが、駐車場が少なく、利便性に欠ける。)	
用途地域・高さ制限	・用途地域の変更をして、高さ制限を緩和して欲しい。	-
防災	・道路が狭く、防災が心配。(この地域は狭い道路が多く、消防車が入りづらい場所も多いため、防災面が心配である。)	-
住民意向	・懇談会に來れない人の意見を聞くべき。	-
その他	・今後の流れはどうなるのか？	-

グループ発表の内容（北側テーブル）

- ・駅から近い立地であるが、緑が多く、静かで、公共性の高い施設が多くあり、非常に住みやすい街である。
- ・公共性の高い施設が周りにもたくさんあり、住みよい街である。
- ・道路整備後、沿道に高い建物が建ち、交通量が増えた場合、今の住環境が保たれるのか不安である。
- ・用途地域が変わっていく中で、建物の高さはどこまで緩和されるのか気になる。
- ・幅員の広い道路ができることにより、どこを渡ることができるのかが気になる。例えば、東京大学側に渡るところは、1箇所だけであるが、これはきちんと確保されるのか。
- ・地区内に消防車両が入りにくい現状の中、補助26号線の整備により、地区内に消防車両が入りやすくなることは、防災上の観点では良いことである。
- ・今後、街づくり懇談会に参加できない人の意見もきちんと汲み上げてほしい。
- ・模型を早く見たい。

当日取りまとめた内容（北側テーブル）



(4) 南側テーブル の付せん紙、模造紙に記載された主な意見

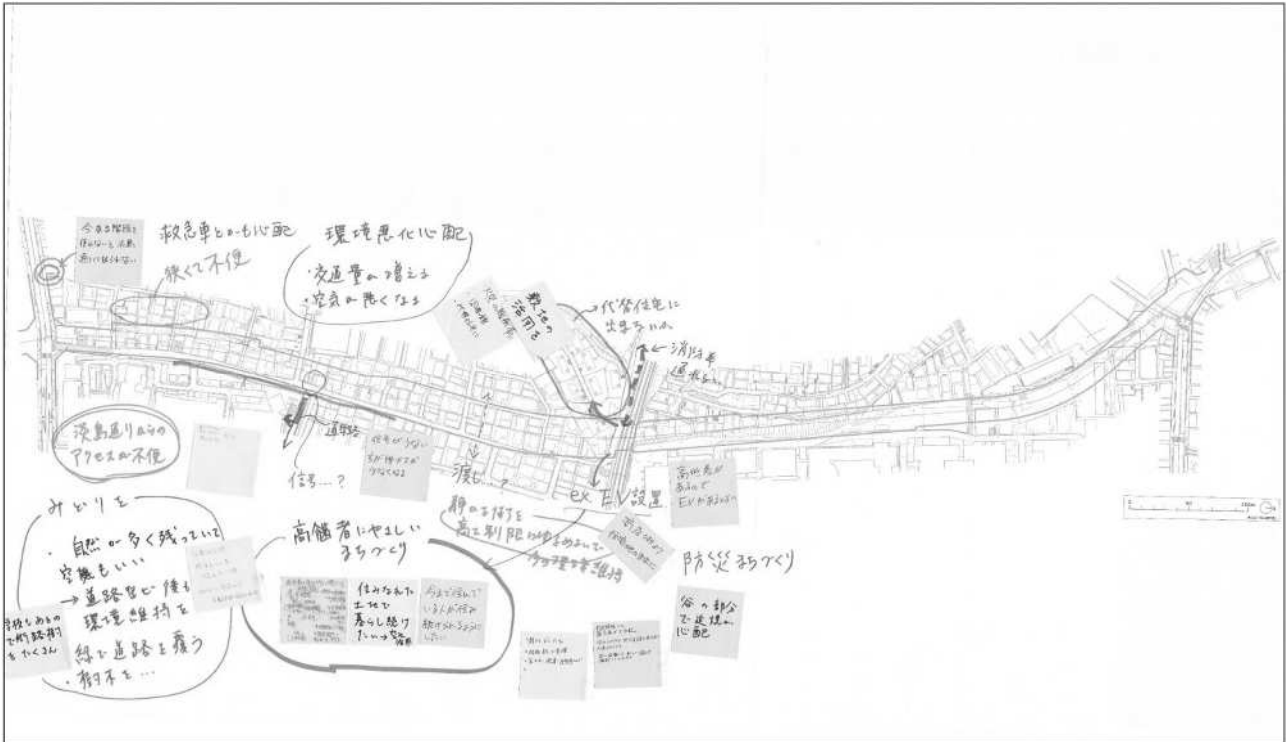
項目	内容	位置	
道路整備	・高低差があるのでEVがあると良い。	計画線内、井の頭線のすぐ南側	
	・谷部 高台部の移動を容易に。(国有地を活用し、EVの設置など)		
	・京王井の頭線をくぐる歩道と既存道路の移動を容易に。		
	・富士中の校章は月桂樹なので、淡島通りから富士中学校の区間に街路樹を植えるのはどうか。)		-
	・街路樹と花壇。		
	・緑で道路を覆う。		
	・学校もあるので街路樹をたくさん。 ・樹木を・・・(樹木をできるだけ増やして、良好な環境を守りたい。)		
横断	・信号...?(図面図示箇所付近に信号が設置されるのではないか。)	-	
	・渡し...?(図面図示箇所付近に渡しが必要なのではないか。)		
安全性	・補助26号線から富士中学校への通学路。(通学路があるので、歩行者の安全が確保されるのか気になる。)	-	
周辺道路	・今ある階段を使わないと淡島通りに出られない。	代沢 1-26 西側	
	・淡島通りからのアクセスが不便。	-	
	・狭くて不便。救急車なども心配。	代沢 1-25、 1-29 付近	
生活環境	・環境悪化が心配。(交通量が増える。空気が悪くなる。) ・信号少ない方が排ガスが少なくなる。	-	
将来像	・高齢者に優しいまちづくり。	-	
	・高齢者の住みやすい街づくり。		
	・商店街より住宅地のままに。		
	・通り抜けの車が少ない静かな街。歩き易い。		
	・低層住宅街。陽当たりの良い緑の多い街、絶対に守るべき。高層建物絶対反対。		
	・静かな街を。高さ制限を緩めないで、今の環境維持。		
・静かなまちづくり。			
防災	・自然も多く残っていて空気も良い。道路整備後も環境維持を。	-	
	・防災まちづくり。		
	・谷の部分で延焼が心配。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・消防車が通れない。 	井の頭線沿い道路（南側）
居留意向	<ul style="list-style-type: none"> ・計画線には高齢者が大多数。住み続けた地で生涯を終えたい人達ばかりです。都と協議して、新しい住いを検討してください。 ・住み慣れた土地で暮らし続けたい。空地活用。 ・今まで住んでいる人が住み続けられるようにしたい。 	-
国有地	<ul style="list-style-type: none"> ・代替住宅に出来ないか。代替住宅に。 ・火災の緩衝帯に。 ・図書館。（敷地の活用例として） ・敷地の活用を。 	代沢 1-35、 1-36 付近

グループ発表の内容（南側テーブル）

- ・生活に密着した大きな課題は、いま自由に淡島通りに出られている所が、道路整備後、既存の階段を使わないと淡島通りへ出られなくなってしまう所があり、非常に不便になるのではないかということである。
- ・皆様、今の静かな街に愛着を持っているため、高い建物が建つことについては、あまり望まないという雰囲気であり、今の規制はあまり緩めず、現状維持でいけないだろうか。
- ・現在は、自然・緑が割りと多く残っており、大きな公園も近くにたくさんあるなど、空気が良い。道路が整備され、交通量が増えることで空気が悪くなったり、騒音の問題など、環境悪化を心配している。
- ・良い環境であるため、街路樹をたくさん植えて、緑を増やしていったらどうか。
- ・高齢者が多いため、高低差のある掘割部には、エレベーターを設置して高低差の解消を図るなど、高齢者に優しい街づくりをしてほしい。
- ・引越しをせざるを得ない住民の方がたくさん出てくるが、住み慣れた場所でずっと暮らし続けたいというご希望の方が多いため、アイデアの一つとして、国有地を代替住宅用地として活用できないか。
- ・国有地部分については、震災時に延焼を防ぐ空地としての役割を持たせる公園や小さな図書館を整備できないか。
- ・代沢1丁目 25番・29番付近の道路は非常に狭く不便である。今後どうなっていくのかが気になる。
- ・京王井の頭線南側の道路は、現在消防車が進入できず危険なため、防災に関する検討を進めながら街づくりを進めた方が良い。

当日取りまとめた内容（南側テーブル）



3. アンケートの概要

11名の方がアンケートに記入してくださいました。内容は、次のとおりです。

(1) 第2回街づくり懇談会の感想

街の魅力	・テーマ「街の魅力…」今後も大切にしたい所は、東大駒場リサーチキャンパス西側の桜の崖である。
東京都への情報伝達	・意見や希望を言っても、きちんと都に伝わるのか？只の区役所の役人のアリバイ作り（キッチンと会合を開いたという）に利用されている。
案内方法	・町内会にも情報を送ったという話でしたが、地元（下代田東）町内会は毎月1日の会報発行ですので、2月末の開催を当月に送っても間に合いません。先の日程まで決めて載せ、実施日の前半月には発送していただく様をお願いします。
模型	・模型があれば良かった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参考になりました。ありがとうございました。 ・（今回は）前向きな議論ができてよかった。 ・具体的な問題点など、グループに分かれて話すことが出来て良かったです。 ・建設的な意見が多く出され、今後の楽しみが増えました。 ・具体的な意見交換が出来てよかった。 ・多くの住民の参加を工夫すればより多くの意見が出ると思う。 ・写真を撮りすぎ。次回のニュースには自分の写った画像を入れないでください。

(2) 沿道街づくりに関する意見

高さ制限	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の一部が道路に掛かった地主のために建物の高さ制限を緩めるとするのは不公平と感じます。土地の9割が掛かった人は、従来の10倍の高さ20階建てが建てられるという事でしょうか？（無理ですよ）土地が全て道路に掛かった人にとっては、何の恩恵も無いのです。一部（2～3割）だけ掛かった人だけ得をする施策は許されません。 ・この街の魅力は閑静な低層住宅街であり、それを末永く後世に残すことを考えてほしいと思います。高さ制限は絶対に緩めないでください。（建ぺい率、容積率はある程度認めますが、あとは地下を掘ってください。）
建物用途について	<ul style="list-style-type: none"> ・下北沢の商店街も狭い路地を中心にできていますが、茶沢通り沿いの商店が少ないことをみても判る通り、車の走る道沿いに商店は出来づらいと考えます。（近くに駅でもあれば別ですが。） ・淡島通り沿いに何軒コンビニがあるのでしょうか？ましては、堀割道路沿いに店が出来るのでしょうか？ここは、住宅街として残すしかないので。（新たな店が出来たら古い店が2つつぶれると考えてください）今

	の用途地域を変えないでください。
補助 2 6 号 線整備	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動、環境破壊、税金のムダづかいは本当に腹が立つ！建設費、作った後のメンテナンスが多くなるはず。それより3ページ下2行の「役人はキチンと考える！」という意見に賛成です。 ・京王井の頭線南の道路（補助26号線）上に公園を！かなり広いものがつくれるはず。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・京王井の頭線南沿線道路を拡幅。消防車が通れるように京王線の用地を提供してもらおう交渉をしてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・模型の開示あればさらに議論が深まると思います。 ・高齢化対策が重要な課題となりそうです。 ・発表の中に含まれているので割愛します。 ・場所によっていろいろな考え方があることが分かった。

(3) その他

イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・VR（ヴァーチャルリアリティ）やCG（コンピュータグラフィックス）などの技術で、具体的な街（道路）のイメージを提示してほしい。
区のヴィジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷の街づくりのヴィジョンが知りたい。この地区をどのような地区にしたいのか知りたい。
懇談会の開催日	<ul style="list-style-type: none"> ・私は遠くに現在住んでいるので、土日とかの早い時間の時の開催も希望いたします。

4 . 東京都からの回答

(1) 道路整備について

意見：

- ・この道路づくりは、平穩に生活している代沢に無理に立ち退きをさせて街を分断する、まるで環七の様な恐ろしい道ができる。不便、分断されるなんて断じて許せない。
- 役人は、きちんと（第2回街づくり懇談会配布資料の）3ページの下3項目（「この道路に対しては腹立たしい。道路の問題点について全く洗い出していないのに区は推進していくのか。」、「道路整備は、まだ決定していません。」、「将来少子化や自動車が減少するときに、こんな先見性のない無能な役人はもっと勉強すべき。」）を考慮すべきである。
- ・道路整備に反対する。
- ・ふるさとがなくなる。
- ・騒音、振動、環境破壊、税金のムダづかいは本当に腹が立つ。建設費、作った後のメンテナンスが多くなるはず。それより3ページ下2行の「役人はきちんと考える。」という意見に賛成です。

世田谷区から報告を受け、ご意見として承りました。

(2) 道路計画線の位置について

質問：なぜ広い東大の敷地を通さないのか。

補助26号線は都市計画道路であり、位置等につきましては都市計画により定められています。

(3) 道路構造について

1) 掘割部分について

意見：

- ・整備道路の掘割部分の上部に蓋をかけて、魅力ある公園にするのはどうか。
- ・京王井の頭線と南側100m位は暗渠（トンネル）にできないか。そうすれば、地上は公園（魅力がある）にできる。
- ・全部地下化すべき。あるいは、一部だけでも暗渠の方がよいのではないか。
- ・京王井の頭線南の道路（補助26号線）上に公園を整備して欲しい。かなり広いものがつくれるはずである。

法令により道路の建築限界が定められており、蓋をかけられる空間はほとんどありません。

意見：

- ・京王井の頭線をくぐる歩道と既存道路の移動を容易に。
- ・高低差があるのでエレベーターがあると良い。
- ・谷部と高台部の移動を容易に。(国有地を活用し、エレベーターの設置など。)
- ・京王井の頭線の掘割部は、高低差があるため、エレベーターがあるとよい。

歩行者の動線につきましては、今後、道路構造を設計するなかで検討していきます。

2) 既存の道路との接続について

意見：

- ・道路整備後、淡島通りへのアクセスが不便になる街区が発生することが最大の課題である。
- ・区道から補助26号線、淡島通りへ抜けるルートが不可欠である。
- ・淡島通り付近の住民が淡島通りに出る際、副道と整備道路を経由すると移動距離が長くなり無駄がある。副道横に階段などを設けて「抜けるルート」を設けてほしい。
- ・淡島通りからのアクセスが不便。
- ・今ある階段を使わないと淡島通りに出られない。(代沢1-26西側)
- ・沿道との接続箇所を早く知りたい。(補助26号線と後背地の道路との接続箇所を速く知りたい。)

既存の交差道路との接続につきましては、今後、警視庁や世田谷区、目黒区と調整を図りながら、詳細に検討していきます。

区としては、事業化された後、用地がある程度確保された段階で、補助26号線と区道との取り付けなど、道路整備に向けた調整を、東京都と行っていきます。

3) 街路樹について

意見：

- ・富士中の校章は月桂樹なので、淡島通りから富士中学校の区間に街路樹を植えるのはどうか。
- ・緑(街路樹と花壇)で道路を覆う。
- ・樹木をできるだけ増やして、良好な環境を守りたい。
- ・学校もあるので街路樹をたくさん植えて欲しい。

歩道部には、植樹帯を設置して、高木から低木などの街路樹を植栽し、緑の回復、緑豊かな景観の創出に努めます。

樹種については、地域の特性や隣接する区間との統一性を考慮して選定します。

4) 歩行者と自転車の分離について

意見：歩行者と自転車の利用域の分別。

「事業のあらまし」の中、道路構造の概要(イメージ図)の横断図に示すように、歩行者、自転車、自動車を分離する予定であり、交通安全性を確保していきたいと考えています。

5) 交差点について

意見：淡島通りと補助26号線の交差点付近は、歴史的に急勾配であるため緩くしてほしい。

今後、警視庁調整を図りながら、道路の縦断勾配などについても、詳細に検討していきます。

(4) 道路の横断について

意見：

- ・横断できなくなる。
- ・横断を確保して欲しい。(代沢1-31南側、代沢1-24北西側)
- ・副道がない箇所では、整備道路と後背地との間をフラットに移動できるので、そのまま整備道路を横断できるようにしてほしい。
- ・図面図示箇所付近に信号が設置されるのではないか。
- ・図面図示箇所付近に渡しが必要なのではないか。
- ・淡島通りとの交差点付近の整備道路は、掘割状になるようなので、上空で横断できるようにしてほしい。
- ・道路整備後、道路の横断箇所がどのようになるか気になる。例えば、現在一箇所のみは東京大学の入口前は、横断できるのか。
- ・消防車等が横断するのに補助26号線で遠回りになるのではないか。
- ・補助26号線から富士中学校への通学路(通学路があるので、歩行者の安全が確保されるのか気になる。)
- ・幅員の広い道路になるため、車の走行速度が速くなり、道路を横断するのが危険なのではないか。(道路の横断が心配。)

今後、警視庁調整を図りながら、横断歩道や信号機の設置など、安全面も考慮し適切な個所で道路横断が可能となるよう検討していきます。

(5) 道路整備に関する情報について

意見：

- ・2車線だと思っていたが副道が出来るとは思わなかった。実質4車線である。
- ・詳細な道路の情報がないと議論できない。
- ・詳しい説明がなく進んでいる。(車線数などの情報)

- ・平面図面だと道路の構造がわかりづらい。
- ・規模が大きすぎて想像できない。

世田谷区は、道路整備のイメージを住民の皆様に分かりやすくお伝えするために、補助26号線の模型やVR（ヴァーチャルリアリティ）による映像製作を行うと聞いています。

（6）道路工事の情報について

質問・意見：

- ・工事を行う時が心配である。（車両の動線など）
- ・工事をするにあたっては、工事の進め方、騒音やダンプカーの進入経路など、具体的に教えて欲しい。
- ・工事はどこから始まるのか。資材搬入がどこからされるか、ダンプカー等が住宅地内を行き来することがあるのか等、具体的に知りたい。

工事の具体的な進め方については、現時点では決まっておりませんが、工事を着手する段階でチラシ配布などによりお知らせいたします。
工事車両や資材搬入のルートにつきましては、沿道の皆様に配慮しながら、具体的に検討していきます。

（7）道路整備による環境の変化について

1）地域の魅力について

意見：

- ・道路によって街の魅力が減る。
- ・今の環境がなくなる。（自然や景色がなくなる。）
- ・現在の環境について、区、都が十分理解していない。
- ・東京大学敷地の崖の景観が魅力そのものである。桜やウグイスが見られることが気に入っている。今後、変わってしまうことに対して不満に感じている。

地形、水系、緑地等の自然的な条件や周辺の土地利用に配慮した道路計画を策定するとともに、現地にて周辺への環境影響の把握に努めます。
緑による沿道の居住環境の保全を図るため、可能な限り道路緑化を推進します。

2）水害等について

質問・意見：

- ・窪地であるため、道路整備時に水が出るのではないかと。整備後に災害（水害）が起きないか心配である。
- ・京王井の頭線の下に道路を通して水、災害等が発生しないのか。
- ・高低差があるため、水害が心配。

補助26号線と京王井の頭線交差点につきましては、必要に応じてポンプ排水を行うなど冠水対策を行います。集中豪雨などの気象状況により、万が一冠水するような場合は、通行止めを行い事故防止を図ります。

3) 環境について

意見:

- ・環境悪化が心配(交通量が増える。空気が悪くなる。)
- ・信号少ない方が排ガスが少なくなる。
- ・(道路整備により)井戸水所有者2軒が立退き、今後の方向は?

騒音・振動・大気質については、今回整備する補助26号線(代沢)と同規模の都道での測定結果を調査し、いずれも環境基準以下であることを確認しております。

工事の施工中は、低騒音型、低振動型の建設機械や排ガス対策型建設機械を使用するなど、環境面に配慮し、事業を進めます。

(8) 居住意向について

質問・意見:

- ・住み慣れた土地で暮らし続けたいため、国有地部分を代替住宅に出来ないか。
- ・国有地部分を代替住宅に出来ないか。代替住宅に。
- ・今まで住んでいる人が住み続けられるようにしたい。
- ・今の近くに住みたい。
- ・今の街に住み続けたい。
- ・計画線には高齢者が大多数。住み続けた地で生涯を終えたい人達ばかりです。都と協議して、新しい住まいを検討してください。

用地補償の考え方は、用地説明会を開催してご説明するとともに、意向については個別にご相談させていただきます。

(9) 今後の流れについて

質問: 今後の流れはどうなるのか。

道路整備については、「事業のあらまし」の中、事業の進め方に示すように、令和元年度に事業認可を取得し、権利者の方々を対象に用地説明会を開催する予定です。その後、物権補償調査、補償金の算定、個別の交渉をさせていただく予定です。

具体的な事業の流れにつきましては、東京都第二建設事務所工事第一課へお問合せください。

補助26号線（世田谷区代沢一丁目～目黒区駒場四丁目）のお問い合わせ先は、次のとおりです。ご不明なことがございましたら、お気軽にお問合せください。

用地補償に関すること

東京都第二建設事務所 用地第一課 用地担当

（電話：03 - 3774 - 8114 又は 03 - 3774 - 8116）

用地測量・都市計画道路境界線の位置に関すること

東京都第二建設事務所 工事第一課 測量担当

（電話：03 - 3774 - 9012）

都市計画道路の事業計画に関すること

東京都第二建設事務所 工事第一課 工務担当

（電話：03 - 3774 - 9002）

沿道街づくりに関すること

世田谷区北沢総合支所街づくり課 街づくり担当

（担当：岡崎、北島、伊藤、高安、小川）

（電話：03 - 5478 - 8073）

目黒区都市整備部都市整備課 （担当：鎌瀧）

（電話：03 - 5722 - 9714）

5 . 区からの回答

意見：意見や希望を言っても、きちんと東京都に伝わるのか？只の区役所の役人のアライバイ作り（キチンと会合を開いたという）に利用されている。

街づくり懇談会において参加者の皆様からいただいたご意見やご質問につきましては、世田谷区北沢総合支所街づくり課の職員が、東京都第二建設事務所工事第一課を訪問し、街づくり懇談会における主なご意見をお示しし、概略を説明した上で、回答をお願いしています。

意見：

- ・ 模型を早く見たい。
- ・ 具体的なイメージが出来ると前向きな意見は言いやすくなる。
- ・ 平面図面だと道路の構造がわかりづらい。
- ・ 詳細な道路の情報がないと議論できない。
- ・ 模型の開示があればさらに議論が深まると思います。
- ・ 模型があれば良かった。

東京都から補助26号線に関する情報を得て、区が模型を製作いたしましたので、第3回街づくり懇談会において、皆様にご提示させていただきました。

意見：VR（ヴァーチャルリアリティ）やCG（コンピュータグラフィックス）などの技術で、具体的な街（道路）のイメージを提示してほしい。

今年度は、補助26号線の整備イメージを分かりやすくお伝えするために、VR（ヴァーチャルリアリティ）による道路のイメージ映像を製作し、皆様にご提示する予定です。

意見：懇談会に来ることができない人の意見も聞くべき。

今年度につきましては、「補助26号線沿道地区街づくりニュース」の紙面を活用し、アンケート調査を実施し、街づくり懇談会に参加することができない人の意見もうかがう予定です。

意見：

- ・ 低層住宅街。陽当たりの良い緑の多い街を絶対を守るべき。高層建物絶対反対。
- ・ 静かな街を。高さ制限を緩めないで、今の環境維持。
- ・ 自然も多く残っていて空気も良い。道路整備後も環境維持を。
- ・ 現状より静かに保たれるように。静かなまちづくり。駅近だが静か。
- ・ 緑が多い。

- ・防災まちづくり。
- ・静かな環境は全員共通認識。静かな住宅街。
- ・長期にわたって維持してきた静穏な住宅地。(あらゆる利便の観点も含めて。)
- ・高齢化対策が重要な課題となりそうです。
- ・高齢化に対応した住環境整備。
- ・高齢者に優しい街づくり。高齢者の住みやすい街づくり。
- ・車いすが自由に移動できるように。
- ・子どもやお年寄りにも住みよい街。(坂が多い)
- ・年配者にとっては、坂などがありどうすればよいか。

新しく整備されようとしている道路沿道の将来像につきましては、これまで皆様からいただいていた街の現状と課題を踏まえながら、今後、街づくり懇談会において検討を深めていきます。

意見：

- ・日用品の買い物ができる店が必要。
- ・商店街より住宅地のままに。
- ・下北沢の商店街も狭い路地を中心にできていますが、茶沢通り沿いの商店が少ないことをみても判る通り、車の走る道沿いに商店は出来づらいと考えます。(近くに駅でもあれば別ですが。)
- ・淡島通り沿いに何軒コンビニがあるのでしょうか？ましては、堀割道路沿いに店が出来るのでしょうか？ここは、住宅街として残すしかないのです。(新たな店が出来たら古い店が2つつぶれると考えてください)今の用途地域を変えないでください。

現在、地区の大部分は、第一種低層住居専用地域であり、主に住宅しか建築することができません。そこで、新しく整備されようとしている道路沿道に、将来的にどのような用途の建物があると良いのか、今後、街づくり懇談会で検討を深めていきます。

意見：

- ・用途地域の変更をして、高さ制限を緩和して欲しい。
- ・土地の一部が道路に掛かった地主のために建物の高さ制限を緩めるとするのは不公平と感じます。土地の9割が掛かった人は、従来の10倍の高さ20階建てが建てられるという事でしょうか？土地が全て道路に掛かった人にとっては、何の恩恵も無いのです。一部(2~3割)だけ掛かった人だけ得をする施策は許されません。
- ・この街の魅力は閑静な低層住宅街であり、それを末永く後世に残すことを考えてほしいと思います。高さ制限は絶対に緩めないでください。(建ぺい率、容積率はある程度認めますが、あとは地下を掘ってください。)

現在、沿道地区の大部分は、建築物の高さの最高限度が10mとなっています。沿道地区における将来の建築物の高さの最高限度につきましては、今後の街づくり懇談会において、沿道の将来像を皆様との間で共有した上で、「将来的にも現状のままだとよいとするのか」、「緩和を認めるとすれば、どれ位の高さまで許容することができるのか」、今後の街づくり懇談会において、検討を深めていきます。

意見：世田谷の街づくりのビジョンが知りたい。この地区をどのような地区にしたいのか知りたい。

世田谷区では、長期的（計画期間は概ね20年）な視点に立った都市づくり・街づくりの総合的な基本方針となる「世田谷区都市整備方針」（平成27年4月策定）を策定し、土地利用の方針やテーマ別の方針などを定めています。この「都市整備方針」では、「都市計画道路事業が行われる地区」については、「延焼遮断帯となる都市計画道路の整備にあわせ、沿道の不燃化を進める。」とともに、「都市計画道路事業による土地利用の変化に対応するため、周辺の住宅地との調和を図りながら、沿道の土地利用などを適切に誘導する。」としています。区では、本地区について、東京都による補助26号線の進捗状況を勘案しながら、周辺の住宅地との調和を図りながら、道路整備後の沿道の土地利用などを適切に誘導するために、地区住民の皆様とともに、地区の将来像やその実現方策を検討する取組みを進めています。

質問：旧国家公務員住宅の再開発計画は？（代沢1-35・36付近）

旧国家公務員住宅用地につきましては、国は令和元年5月31日現在、「本財産に係る土地利用のあり方を含め、処分方針検討中」として、処分を保留している状況であり、現時点において、再開発計画は未定です。

意見：写真を撮りすぎ。次回のニュースには自分の写った画像を入れしないでください。

今後、記録写真の使い方につきましては、配慮していきます。

意見：

- ・私は遠くに現在住んでいるので、土日とかの早い時間の時の開催も希望いたします。
- ・多くの住民の参加を工夫すればより多くの意見が出ると思う。

今後の街づくり懇談会の開催につきましては、土曜日や日曜日の開催も検討するなど、より多くの住民の皆様の参加が得られるよう、工夫していきます。
なお、次回の第4回街づくり懇談会につきましては、皆様と現地を実際に歩く「まち歩き」を行うことを考えており、土曜日又は日曜日に開催する予定です。

意見：

- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・(今回は)前向きな議論ができて良かった。
- ・具体的な問題点など、グループに分かれて話すことが出来て良かったです。
- ・建設的な意見が多く出され、今後の楽しみが増えました。
- ・具体的な意見交換ができて良かった。
- ・場所によっていろいろな考え方があることがわかった。

今後も、皆様に建設的な意見交換をしていただけるよう、工夫をしていきます。

	現状の魅力・課題認識	将来の姿（将来像）	具体的な手法
沿道街MANSHION	<ul style="list-style-type: none"> ●街の魅力 <ul style="list-style-type: none"> ・この街の魅力は閑静な低層住宅街である。 ・長期にわたって維持してきた静穏な住宅地。 ・静かな住宅街。 ・陽当たりが良く、緑の多い低層住宅街、絶対に守るべき。 ・近くにコンビニ等があり、便利である。 ・大学等、公共性の高い場所が多い。 ・現状の道路状況で、大変利便性がある生活のしやすい環境である。 ・車の通り抜けが少なく、静かで歩きやすい街である。 ・自然も多く残っていて空気も良い。緑が多い。 ・(東京大学西側の) 崖の景観が魅力そのものである。(桜やウグイスとか気に入っている。) ・今後も大切にしたい所は、東大駒場リサーチキャンパス西側の桜の崖である。 ●居留意向 <ul style="list-style-type: none"> ・今の近くに住みたい。 ・今の街に住み続けたい。 ●生活環境に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・坂などがあり年配者にとってはどうすればよいか。 ●街並みの変化に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・用途変更や高さ制限を緩和すると、街並みが変わってしまう。 ●災害に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・谷地のところで延焼が心配である。 ・道路が狭く、防災について心配である。 ・高低差があるため、水害が心配である。 ●交通の安全に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道路を多くの車や自転車が走り、危険である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誰にも優しい街づくり <ul style="list-style-type: none"> ・子どもやお年寄りにも住みよい街にしたい。(坂が多い) ・高齢者に優しい街づくり。高齢者の住みやすい街づくり。 ・車いすが自由に移動できるように。 ・高齢者が元気に活動できる街へ。 ・誰でも生活しやすい街へ。 ●防災街づくり <ul style="list-style-type: none"> ・防災街づくりをめざしていきたい。災害に強い街へ。 ●緑多い・自然環境 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を楽しめる街へ。 ・道路整備後も自然環境を維持する。 ・街の外観が損なわれない街づくりをしてほしい。緑多くゴミゴミしない。 ●生活環境 <ul style="list-style-type: none"> ・現状より静かに保たれるようにしてほしい。 ・住宅街として残すしかない。 ・商店街より住宅地のままにしてほしい。 ・商業地としても、立地的価値が高いと感じている。 ・日用品の買い物ができる店が必要である。 ・住宅街であるため中層化建物やコンビニ建設などを行うべきではない。 ・テナント空き家や、変な事務所、宗教団体などが増えても困る。 ・陽当たりの良い緑の多い街を絶対に守るべき。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・防火的な商業ビル、多用途マンションを建てるべき。立ち退かなければならない家族のために、沿道に高層住宅を建てるなどの方策を考えてほしい。 ・都道26号線ありきではなく、代沢1丁目及び駒場2～3丁目の街づくりをいかにあるべきかを示す。 ・国有地を活用し、引越しが必要な住民の代替住宅や小さな図書館をつくるのはどうか。震災時に延焼を防ぐ空地としての役割も担う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●用途地域の変更について <ul style="list-style-type: none"> ・今の用途地域を変えないで欲しい。 ・沿道住民が建替えしやすいように、用途地域を変更して欲しい。 ・用途地域の変更と地区計画は必要である。計画があれば早急に。 ●建蔽率・容積率について <ul style="list-style-type: none"> ・建蔽率、容積率をできるだけ欲しい。 ・建蔽率：50%→60%、容積率：150%→200% ・建蔽率、容積率はある程度認める。 ●建築物の高さ制限について <ul style="list-style-type: none"> ・高さ制限を緩めないで、今の環境を維持する。 ・高さ制限は絶対に緩めないで欲しい。 ・用途地域の変更をして、高さ制限を緩和してほしい。

	課題認識	将来の姿（将来像）
道路整備について	<ul style="list-style-type: none"> ●道路整備そのものについての課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で道路の整備は確定しておらず、反対している人もいる。道路の整備が行われることを前提として議論を進めることに納得していない。 ・この道路に対しては腹立たしい。道路の問題点について全く洗い出していないのに、区は推進していくのか。本当にこの道路が必要なのか。 ・反対の人の意見を表に出す機会があまりにも少ないと思う。 ・少子高齢化でドライバー不足が社会問題となっている昨今、今地域に必要なのは、車を通すための道路ではなく「生活道路」である。 ●補助26号線の東西方向の往来（横断）に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・掘割道路の上空を横断するための「渡し」が必要なのではないか。 ・東京大学へ渡るところが1箇所あるが、これが確保されるのか気になる。 ・東西の行き来を分断しないでいただきたい。地域が分断されようとしている。 ・掘割道路が多い区間は、東西の横断ルートの確保が重要な問題である。 ・消防車等が横断するのに補助26号線で遠回りになるのではないか。 ・副道がない箇所はそのまま横断できるようにしてほしい。 ・横断歩道を設け地域の分断を最小限にすべき。 ・補助26号線の通学路上について、歩行者の安全性が確保されるのか。 ・補助26号線の横断ルートをしっかり作って欲しい。 ●淡島通りへのアクセスに関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備後、淡島通りへのアクセスが不便になる街区がある。 ・補助26号線と後背地の道路との接続箇所を早く知りたい。 ・区道から補助26号線を経由して、淡島通りへ抜けるルートが不可欠である。 ●道路構造（高低差の解消）に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・京王井の頭線付近は、高低差があるため、エレベーターがあるとよい。 ・歩道だけでも浅いところに作って側道との行き来をしやすくしてほしい。 ・地下に道路をつくれぬか。可能であるなら車道部分はトンネル化して、地上の生活道路から切り離してほしい。 ・長い地下道は治安面でも心配。 ●既存の道路との接続に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の区道で新しい都道を横ぎる部分は残るのか。 ・池ノ上駅までの道路整備もあわせてお願いします。とても危険な状態である。 ●道路工事の進め方に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・工事を行うときが心配である。（車両の動線など） ・工事にあたっては、工事の進め方、騒音やダンプカーの進入経路など具体的に教えてほしい。 ●道路整備による環境の変化に関する課題認識 <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学西側の崖地の景観が、今後、道路整備により景観が変わってしまうことを不満に感じている。 ・道路整備により環境が変わると思う。振動や騒音が心配。 ・交通量が増えることにより、環境の悪化が心配である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歩行者優先の道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・車中心の社会ではなく、人中心の物の考え方をしていかないといけない。 ・車優先でなく、歩行者優先の道路にすべきである。 ・歩行者と自転車の利用域の分別。 ●街路樹等による緑化 <ul style="list-style-type: none"> ・学校もあるため、街路樹をたくさん植え、道路を緑で覆ってほしい。 ・富士中の校章は月桂樹なので、淡島通りから富士中学校の区間に街路樹を植えるのはどうか。 ・街路樹と花壇。 ・掘割道路の上部に蓋をかけて、魅力ある公園にするのはどうか。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両が入れるようになるのは良い。 ・バスを通してほしい。